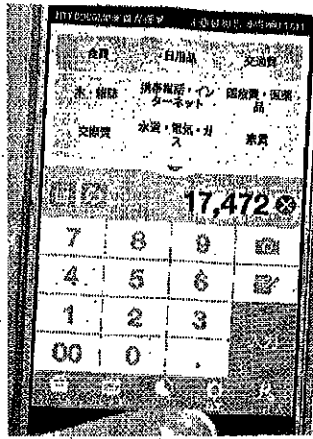


スマートアイデア 「家計簿」で不安解消 あえて「シンプル」「簡単」

フィンテック企業のスマートアイデア(東京都)は、スマートフォン向けの「家計簿」アプリを通して、お金の不安解消に取り組んでいる。高い金融リテラシーやインターネットリテラシーを持たなくても利用できるように、「買って」「シンプル」「簡単」を追求。ダウンロード数は450万件を超え、国外展開も進めている。

一般的に「家計簿アプリ」といわれるPFM(個人資産管理)アプリは、会員登録や金融機関口座との連携など、インターネットリテラシーが低い利用者にはハードルが高い。同社の「2秒家計簿おカネレコ」は、そういった事前の作業が不要で、ダウンロードしてすぐ利用できる。使い方は、食費や日用品、交通費などのカテゴリーを選び、支出した金額を入力するだけ。入力データは自動的にカレンダーに反映され、グラフで見える化される。有料会員は、カメラによるレシート読み取りや、家族いらない。「まずはお金での家計簿共有なども減らさないことが大事」(AI)やビッグデータと「家計簿」に徹する。データを共有することにも可能で、気軽に家計の見直しを相談できる。



操作方法は、カテゴリーを選んで支出額を入力するだけ

2012年の創業当初から世界展開を視野に入れており、現在、日本語、英語、中国語、フランス語、スペイン語に対応している。家計簿を通じた金融教育などで、地域金融機関とも連携していきたい考え。

ラインでFP(ファイナンシャルプランナー)に相談できる新たなサービス「MONKEYCIL(マネシル)」を開始した。「おカネレコ」のデータを事前